

校長室だより第7号（令和7年5月16日）

小倉小学校に着任して1か月以上が過ぎました。着任してすぐに学区の様子を知ろうと車を走らせました。大まかに学区の広さと、危険個所を確かめるためです。

それだけだと足りないと感じた私は、5月になってから、昼休み等を使って徒歩で学区をきままに回っています。「今日は〇丁目を中心に。」という感じで。

どの道を歩いても、道幅は広く、歩道も整備されていて、子どもたちも安全・安心に登下校できるなと思いました。すてきな街にある小学校に赴任できて嬉しいとあらためて感じました。

その安全・安心を脅かす事件が日曜日の夕方に起こりました。保護者の皆様も子どもたちも驚き、不安になったことでしょう。月曜日の早朝に「すぐーる」を配信し、学校は通常通りに行われること、職員がパトロールすること等を知らせました。

お子さんの安全・安心のために親子で手をつないで登校する姿を多く見ました。また、「大丈夫だよ。」と励ましてくれたり、優しく接してくれたりして、子どもたちの心の安定に努めていただき、感謝申し上げます。

また、より多くのセーフティーウォッチャーさんたちが、通学路に立ち、安全を見守ってくれました。日常の学校生活を送ることができたのも、地域や保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

月曜日の下校時は、1年生は集団下校、2～6年生は同時刻に一斉下校し、職員がパトロールをしました。火曜日も登下校時に職員のパトロールを行いました。水曜日以降は管理職がパトロールを行っておりますが、日常に近い状態に戻しています。その方が、子どもたちの心が安定するからです。

今後も、子どもたちを校門で笑顔で迎え、子どもたちに寄り添いながら、小倉小学校がみんなの合い言葉である『わくわく・いきいき・にこにこ』できる場所であり続けたいと思います。